

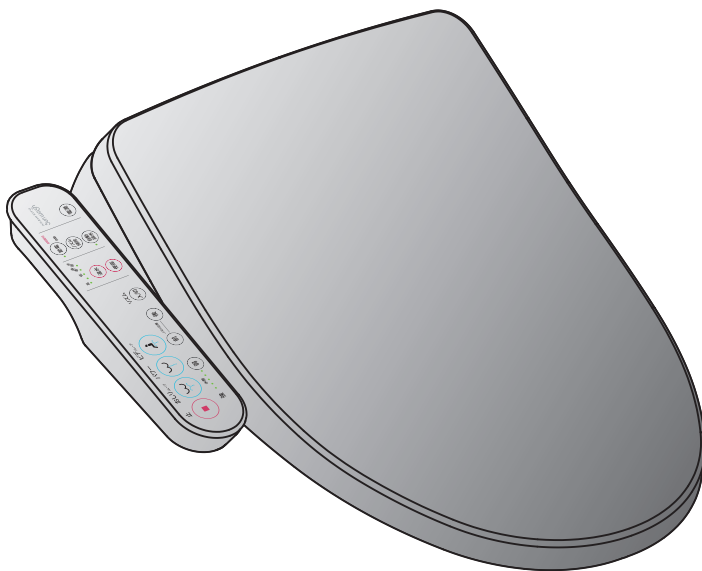
取扱説明書（保証書付）

家庭用



アサヒ衛陶株式会社
温水洗浄便座

DLAL911LI DLAL911LW
DLAL921LI DLAL921LW
DLAL91LI
DLAL92LI



Sunwash

もくじ

安全上のご注意

1～3

必ず
守る

取り付け前の確認

3

各部の名前

4

取り付け手順（設置工事）

5～8

ご使用前の確認

8

設置
方法

試運転

9

各部の働き

10

使いかた

11～12

脱臭機能

13

節電機能

13～14

タンク排水機能

15

ノズル掃除機能

15

凍結防止について

16～17

知っておいていただきたいこと

18

使用
方法

お手入れ

19～20

仕 様

21

故障かな?と思ったら

22～23

重大事故防止のためお願い

24

点検のお願い

25

製品の長期使用に関する本体
表示について

25

保証書

26

アフターサービスについて

裏表紙

そ
の
他

このたびはアサヒ衛陶製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
- この製品は家庭用です。業務用として使用できません。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

お守りいただきたい内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



してはいけない『禁止』の内容です。



必ず実行していただく『強制』の内容です。



警告

「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



禁止

故障したままで使い続けない

次のような時は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。

故障とは…

- ・配管や本体から水漏れしている
- ・異音、異臭がしている
- ・製品が異常に熱い
- ・製品にひびや割れが入っている
- ・製品から煙が出ている

故障したまま使い続けると、火災、感電、室内浸水の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店、取付店またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに連絡してください。



必ず実行

低温やけどに注意する

比較的低い温度でも長い時間、皮膚の同じ場所に触れていると低温やけどのおそれがあります。

次のような方にはご注意ください！

- ・お子様、お年寄り、ご病気の方
- ・ご自分で温度調節のできない方
- ・皮膚の感覚の弱い方
- ・眠気を誘う薬（睡眠薬、風邪薬など）を服用された方
- ・深酒をしたり、疲労の激しい方

※万が一、低温やけどをされたときは直ちに専門医の診察を受けてください。



分解禁止

分解や改造を絶対に行わない

火災や感電、けがの原因になります。修理はお買い求めの販売店、取付店又はアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターにご連絡ください。



必ず実行

電源は交流 100V のコンセントを使用する (50Hz / 60Hz)

交流 200V、船舶などの電源で使用すると感電や過電流による火災の原因となります。



アース線接続

アースを確実に取り付ける

アース工事を行っているか確認してください。故障や漏電の際に感電するおそれがあります。アースの取り付けは必ずお買い求めの販売店、取扱店または電気工事店に相談してください。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たとえ配線で定格を超えると、発熱や発火の原因になります。



必ず実行

新築・改修工事後や水道断水の復旧後は必ず配管内の空気を抜く

配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具、配管の破損や故障の原因となります。けがをしたり、漏水により建物、家財などを濡らし、財産を損害するおそれがあります。



禁止

水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水は使用しない

ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。機械内部の腐食による感電や火災、異物が詰まって故障の原因にもなります。



火気禁止

たばこなどの火気類を近づけない

火災の原因になります。



水場での使用禁止

浴室、シャワー室など湿気の多い場所に設置しない

火災や感電の原因になります。



禁止

車両、船舶など、移動体への設置はしない

火災や感電、故障の原因になります。温水洗浄便座本体がはずれて落下し、けがをするおそれがあります。



水ぬれ禁止

便座本体、ノズル部、コンセントに汚水や小便、水をかけない

火災や感電、電子回路部の故障や変色の原因になります。

警告

「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



必ず実行

電源プラグの抜き差しは必ず、電源プラグ本体を持って行う

電源コードを引っ張ると感電やショート、発火による火災の原因になります。



必ず実行

電源プラグの刃などについたほこりは定期的に取りのぞく

トラッキングによる火災の原因になります。乾いた布で拭いてください。



必ず実行

電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む

感電、ショート、発煙、発火のおそれがあります。



禁止

電源コードが傷んでいたら使用しない

電源コードや電源プラグ、コンセントが傷んでいたら使用しないでください。感電、ショート、火災の原因になります。



禁止

雷が発生しているときは、電源プラグやコンセントにさわらない

感電のおそれがあります。



電源プラグを抜く

お手入れのときは電源プラグを抜く

感電や故障の原因になります。

電源プラグを抜く際は⇒18 ページ



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。



禁止

電源コードは束ねたままで使用しない

電源コードが断線、発熱し、火災の原因になります。



必ず実行

化学療法を受けておられる方、免疫不全症の方など極度に免疫力が低下して医師の治療を受けておられる方はご使用に際し、医師に相談する

身体への著しい障害を招くおそれがあります。

必ず守る

注意

「人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。



必ず実行

外気温が 0℃以下になるときは、凍結による破損の予防を行う

本製品は寒冷地仕様ではありません。凍結すると給水配管や本体内部が破損し、漏水の原因になります。暖房するなどして室内を暖めてください。

凍結による破損の予防は⇒

16～17 ページ



必ず実行

電源プラグはノズル使用後、10 秒以上経過したことを確認してから抜く

万が一、ノズル使用後 10 秒を経過せずに電源プラグを抜いたり、停電した場合、動作の初期化が行われず、ノズルの動作不良などが発生する原因になります。



必ず実行

水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める

室内の浸水の原因になります。



禁止

本体操作部に手をついて座ったり、便ふたに寄りかからない

本体操作部や便ふたにもたれかかって過剰な荷重を加えると破損や故障、けがの原因になります。お子様が使用するときは、周りの方が注意してあげてください。



必ず実行

ストレーナーは必ず、止水栓を閉めた後バケツを下に受けてはずす

漏水し、室内の浸水の原因になります。



禁止

配管に力を加えたり、給水ホースを折り曲げたりしない

漏水の原因になります。



必ず実行

長期間使用しないときは、電源プラグを抜き、便座本体内部の水を抜く

水が腐敗して、皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。



禁止

便座の右中央に触れたまま、操作パネルのスイッチを押さない

着座センサーが入り、ノズルから洗浄水が出て水をかぶったり、床をぬらすおそれがあります。

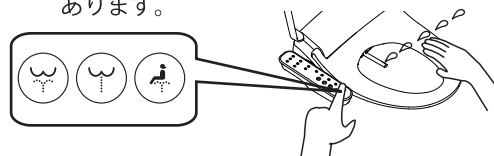
水抜きの方法は⇒16～17 ページ



禁止

便座本体や本体操作部に乗らない

破損や故障の原因になります。また、けがのおそれがあります。



⚠ 注意

「人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。



薬品で拭いたり、かけたりしない

酸性、アルカリ性、塩素系などのトイレ用または住居用洗剤および漂白剤、アルコール成分を含む洗剤および漂白剤、シンナー、ベンジン、アセトン、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類、クレンザーや磨き粉、殺虫剤、芳香剤、消臭剤を使用しないでください。ナイロンたわしなどで拭いたりしないでください。便座樹脂部が変形、変色、ひび割れを起こして、破損や故障、また怪我やかぶれの原因になります。

お手入れの方法は⇒P 19 ~ 20 ページ

メラミン
スポンジ



タワシ



必ず実行

トイレ用洗剤は早めに洗い流し、換気する

便器内の清掃にトイレ用洗剤（酸性、アルカリ性、塩素系洗剤）及び消毒剤などを使用するときは、早め（3分以内）に洗い流した後、便座、便ふたは開けたままにしてください。また便器についた洗剤は確実に拭き取ってください。（トイレ用洗剤などの気化ガスが便座本体に入り、電子回路部などの腐食、故障の原因になります。）
また、トイレ用洗剤は便座につかないようにし、ついた場合は確実に拭き取ってください。



禁止

便座カバー、便ふたカバーを取り付けない

便座カバーを取り付けると、着座センサーが誤作動し、正常に動作しないおそれがあります。また、便ふたカバーを取り付けると、便ふたが開いたとき、便ふたが静止せず倒れ、けがをするおそれがあります。



禁止

乾いた布やトイレットペーパーでこすらない

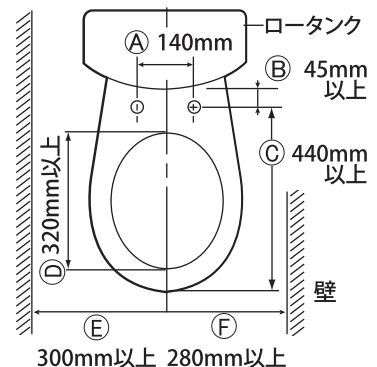
傷の原因になります。

取り付け前の確認

1 取り付け便器について

- ・取り付け便器の寸法を確認します。

①②③④⑤⑥の必要寸法があるか、確認してください。必要寸法がないと、便座本体を取り付けることができません。レギュラーサイズ（標準）の便器に取り付ける場合、便座の先端が「便器の先端」よりも多少出っ張ったり、便器の縁が見える場合があります。



2 給水について

- ・使用水は必ず水道水(上水道)を使用してください。
中水道や工業用水、井戸水は使用できません。

使用可能水道圧範囲は、0.069（流動時）～0.735MPa（静止時）（0.7～7.5kgf/cm²）です。
0.069MPa（0.7kgf/cm²）以下の水圧では、水勢調節幅が狭くなったり、使用できない場合があります。

3 止水栓について

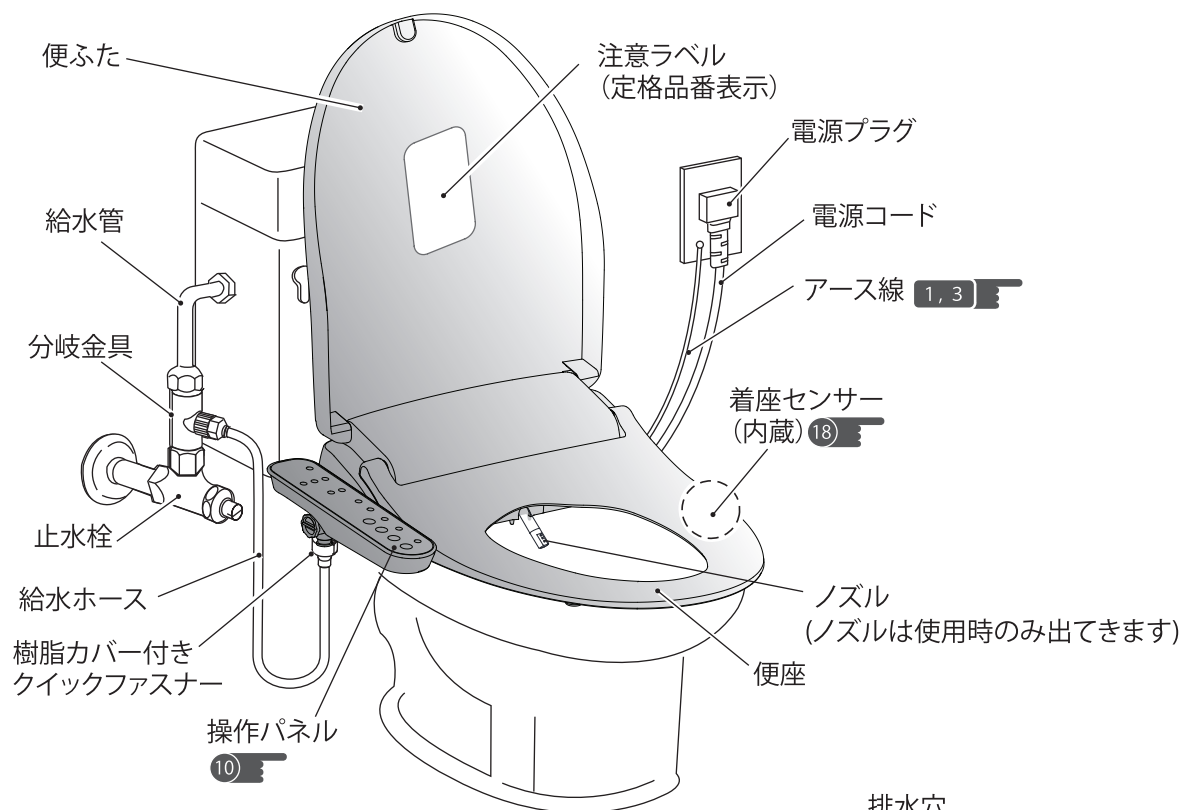
- ・止水栓が付いているか確認してください。
- ・止水栓が付いていない場合やフラッシュバルブ式の場合は、別途工事が必要となりますので、専門業者にご依頼ください。

4 アース端子について

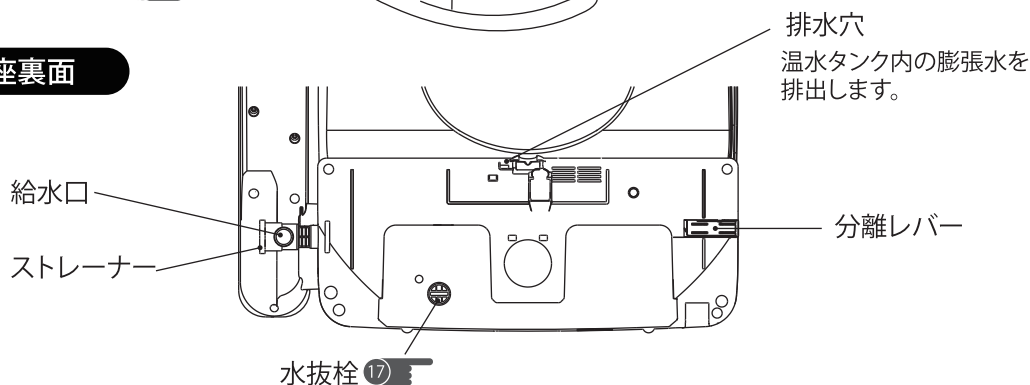
- ・コンセントにアース端子が付いているか確認してください。
- ・アース端子がない場合は、電気工事店へご相談ください。
※アース線を取り付けしないと、故障や漏電の際に感電するおそれがありますので、必ずアース線を取り付けてください。

各部の名前

の数字は説明しているページです。

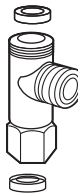
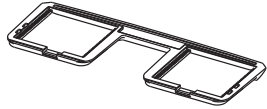
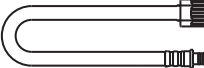


便座裏面



付属品

※下記付属品が同梱されているか確認してください。

		固定ボルト 2本		パッキン(厚さ4mm) 1個		ベースプレート 1個		
		固定ブラケット 2本		分岐金具 1個			パッキン(厚さ2mm) 1個	
		半丸パッキン 2個				フレキシホース(40cm) 1本 (DLAL91,DLAL92のみ)		
		スリップ ワッシャー 2個					給水ホース(100cm) 1本	樹脂カバー付き クイックファスナー 1個
		固定ナット 2個						

用意する工具

※施工空間に見合ったものをお選びください。

- ・24mm のスパナ、またはモンキーレンチ
- ・マイナスドライバー

取り付け手順 (設置工事)



警告



禁止

電源プラグは、設置工事が完了するまでは、コンセントに差し込まない。
電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で便座本体を立てかけたり、
裏返すと発煙・空焚き・水漏れの原因になります。

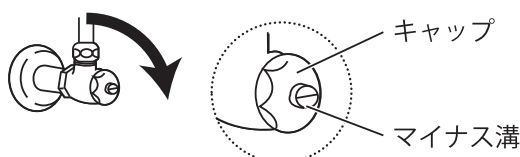
※ 本製品は水道水を使用して検査をしております。

本製品を取り出す際にホースやノズルから多少水滴が出ることがありますが、故障ではありません。

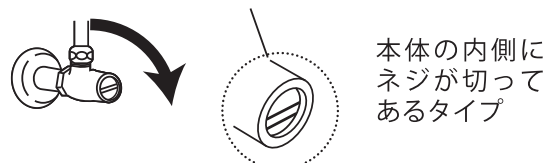
1 分岐金具の取り付け

- ① 止水栓を右に回して閉めた後、ロータンの洗浄ハンドルを回して、給水されないことを確認してください。

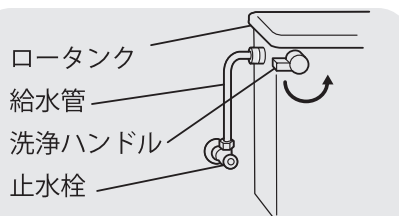
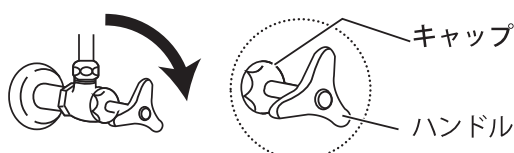
■止水栓がマイナス溝タイプ



■止水栓が内ネジタイプ



■止水栓がハンドルタイプ



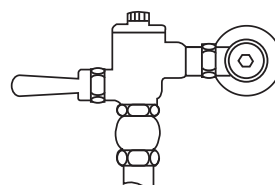
※ 便座の取付後は止水栓の開きを元の位置に戻します。閉める前に開き量の目印をつけておいてください。

止水栓がない場合

■寒冷地用給水管 (止水栓なし)



■フラッシュバルブ式



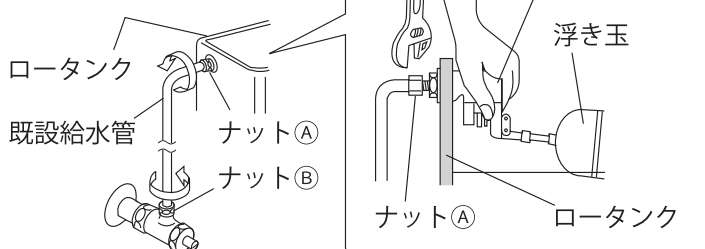
※ 寒冷地用給水管などの既設給水管に止水栓がない場合は、専用配管が必要になります。

※ フラッシュバルブ式の場合は、専用のアダプターが必要となりますので、専門業者にご依頼ください。

- ② ロータンクのふたをはずします。



- ③ ナット①、②をモンキーレンチなどの工具を使って緩め、既設給水管を取りはずします。



※ ボールタップ接続ネジ部を回さないように、ボールタップ本体根元部をしっかり握ってください。

※ ナットを緩めると、給水管の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

取り付け手順 (設置工事)



警告



必ず実行

ボールタップの浮き玉が内壁に干渉しないように注意する

取り付けの際、ボールタップの接続ネジ部を回してしまうと、浮き玉がタンクの内壁と干渉してロータンク内に水が入らなくなることがあります。ボールタップを元の位置に戻してください。

④ 分岐金具を止水栓に取り付けます。

既設給水管を使用する場合

⑤ ロータンクの給水口と分岐金具の距離に合う長さに給水管の分岐金具側を切断し、給水管を取り付けてください。

(給水管の分岐金具への差し込み代を7mm確保してください。)

※ 給水管を切断したら、必ず水洗いなどをして切粉を取り除いてください。配管内に詰まると、故障の原因になります。

⑥ 金属配管のときはモンキーレンチなどの工具を使用して増し締めしてください。

フレキホース (DLAL91,92 のみ) を使用する場合

⑤ 分岐金具に付属のフレキホースを取り付けてください。

⑥ フレキホースをロータンクに取り付けてください。

❗ フレキホースのナットは樹脂ナットです。
しっかりと手締めしてください。

※厚さ4mmのパッキンは不要です。

ロータンク下側にフレキホースが接続されている場合

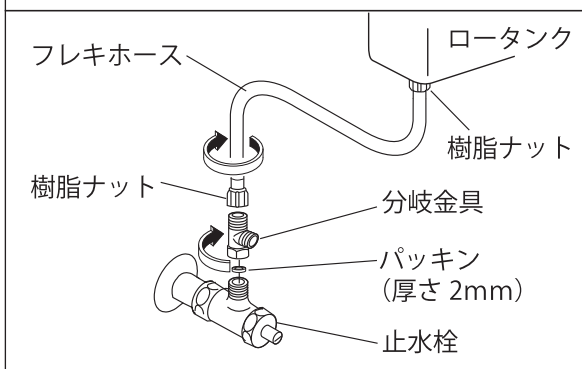
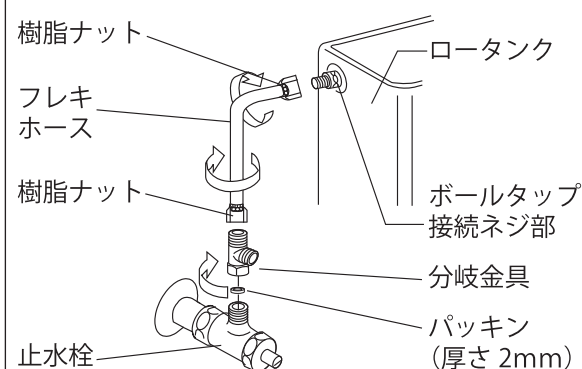
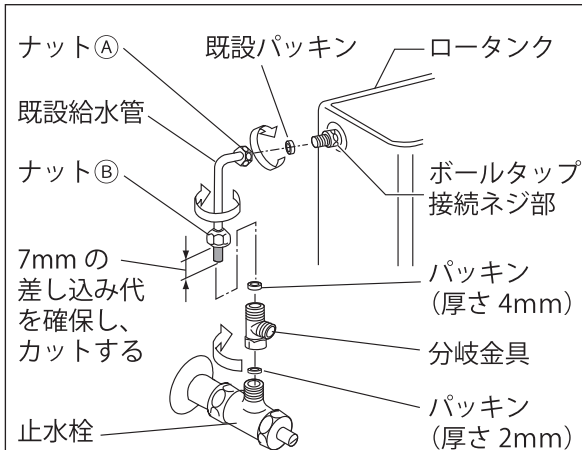
⑤ 分岐金具に付属のフレキホースを取り付けてください。

⑥ フレキホースをロータンクに取り付けてください。

❗ フレキホースのナットは樹脂ナットです。
しっかりと手締めしてください。

※厚さ4mmのパッキンは不要です。

⑦ ロータンクのふたを元に戻します。

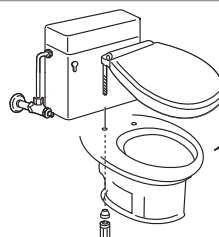


設置方法

2 既存便座の取りはずし

① 便座を固定しているナットを手で回し、取りはずします。

② 便座を取りはずします。

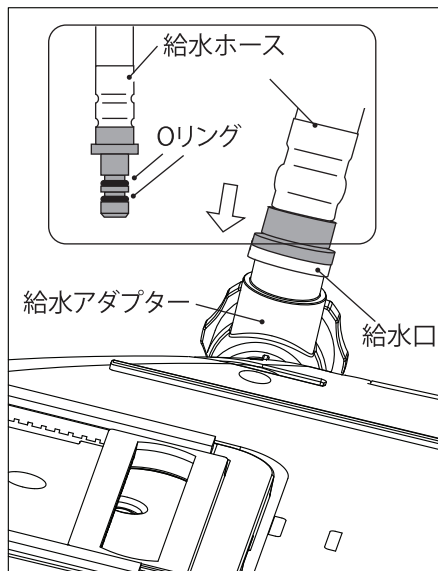


※転居時の再使用など
必要があれば、取りは
ずした便座、パッキン、
ナットの保管をお勧め
します。

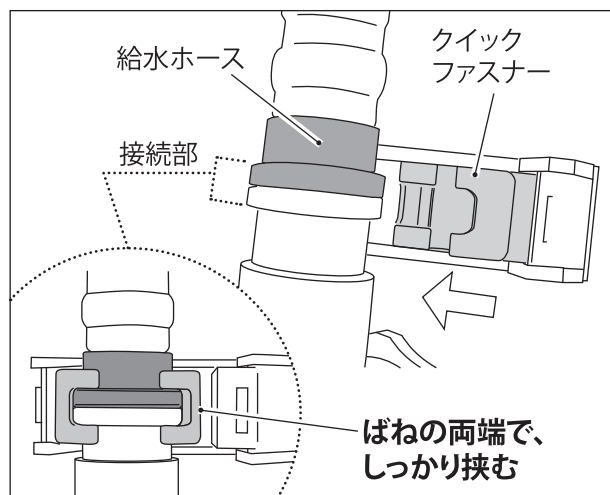
取り付け手順 (設置工事)

3 給水ホースの取り付け-1

- ① 便座を裏返し、給水口に給水ホースを差し込んでください。



- ② 樹脂カバーを開き、内部のクイックファスナーで給水ホースと給水口の接続部にパチンと音がするまで挟み込んでください。外側の樹脂カバーも必ず閉じてください。



⚠ 注意

「人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。



必ず実行

Oリングに傷やごみの付着がないことを確認した後、給水ホースを給水アダプターに差し込む

漏水の原因になります。



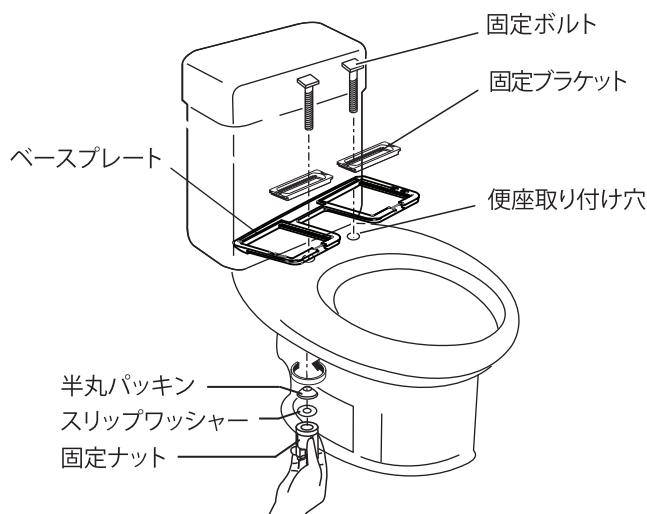
必ず実行

クイックファスナーで締結したら、給水ホースを軽くひっぱり、抜けないことを確認する

締結が不完全だと漏水の原因になります。抜けたら再度、締結し直してください。

4 ベースプレートの取り付け

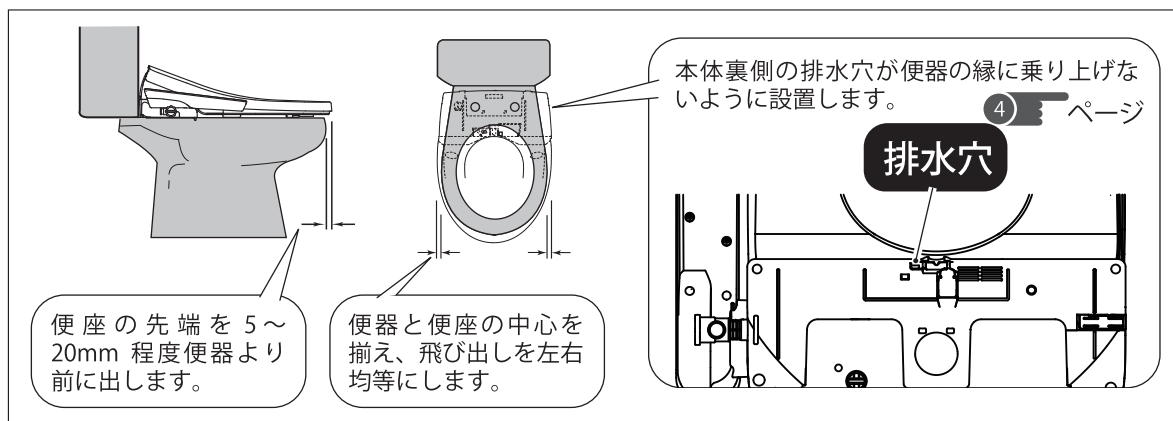
- ① 便器の便座取り付け穴に合わせて、ベースプレートと固定ブラケットを便器に乗せてください。
- ② 固定ボルトを固定ブラケットと便座取り付け穴に差し込みます。
- ③ 固定ボルトに半丸パッキン、スリップワッシャーを通し、固定ナットを取り付け、手で仮締めします。
- ※ 本締めは便座本体を取り付けてから行います。



取り付け手順 (設置工事)

5 温水洗浄便座の取り付け

- ① 便座本体とベースプレートを合わせ、便座をベースプレートの奥まで確実に差し込みます。便座本体を手前に引き、固定されたことを確認してください。
- ② 便器と便座本体の位置を下図のように調整してから固定ナットを本締めします。
※ 締め付け相手は樹脂ボルトなので、**❗ しっかりと手締めしてください。**
※ 排水穴が便器の縁に乗り上げると、排水が便器を伝い、床面を浸水させるおそれがあります。



- ③ 便座本体を取り付けた後、本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

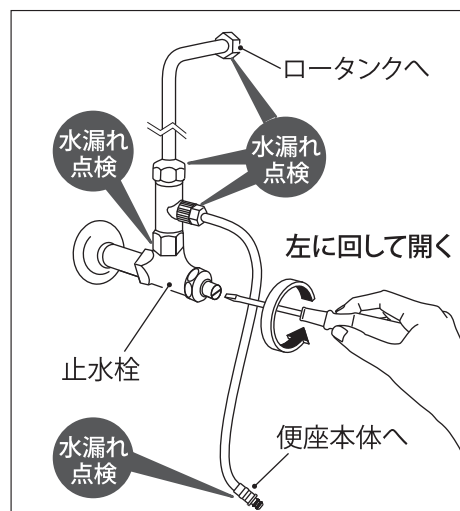
6 給水ホースの取り付け-2

- ① 給水ホースのナット側を分岐金具につないでください。
❗ フレキホースのナットは樹脂ナットです。しっかりと手締めしてください。

ご使用前の確認

水漏れの点検

- ① 給水の前に、配管接続部にゆるみがないか再度確認してください。
- ② 止水栓を開いて、配管接続部から水漏れがないか確認してください。
※ 止水栓を閉める前と同じ水量が出る位置に戻してください。
- ③ ロータンクの水を排出し、確実に給水されるか確認してください。
- ④ 給水管接続部、水抜栓部より水漏れがないことを確認してください。
※ 水漏れしている場合は止水栓を閉め、再施工して水漏れを止めてください。



試運転

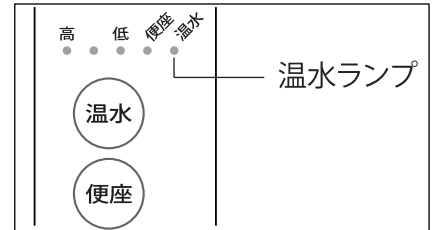
※試運転の前に梱包用ビニール袋を便器と便座の間に挟んで、ノズルから洗浄水が吹き出す様子が確認できるようにしてください。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

着座センサーに触れずに電源プラグをコンセントに差し込み、操作パネルの温水ランプが点灯していることを確認してください。

※着座センサーが検知している状態で電源プラグをコンセントに差し込むと試運転時の給水動作および電源を入れ直した後の洗浄動作ができません。

電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、約15秒間マイコンが初期設定を行いますのでボタン操作を受け付けません。初期設定終了後に試運転を行ってください。



2 温水タンクの初回給水を行う

約10秒後、自動的に給水されます。

※温水タンクが満水にならないと次の洗浄動作が正常に動きません。

※停電後、電源を入れ直した後など、満水でない場合に一回だけ給水されます。

3 洗浄動作の確認

便座の着座センサー位置シール部を手のひらで触り、着座センサーをONにして

おしり/ムープ パワー ビデ/ムープ



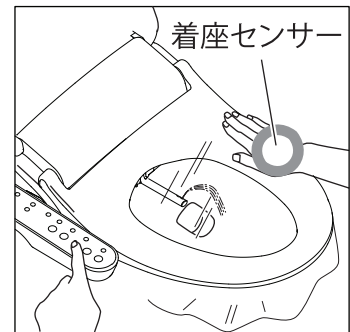
を押す

それぞれの洗浄水が出ることを確認してください。

[止]ボタンを押すと、洗浄水が止まります。

※洗浄動作が正しくできず、電源を入れ直す場合は **1** と **3** の手順をやり直してください。

※洗浄前後および洗浄停止中、ノズル付近から水が落ちることがあります。これは洗浄ノズル内の残水、または温水タンク内の水が沸き上がったときの膨張水によるもので、故障ではありません。



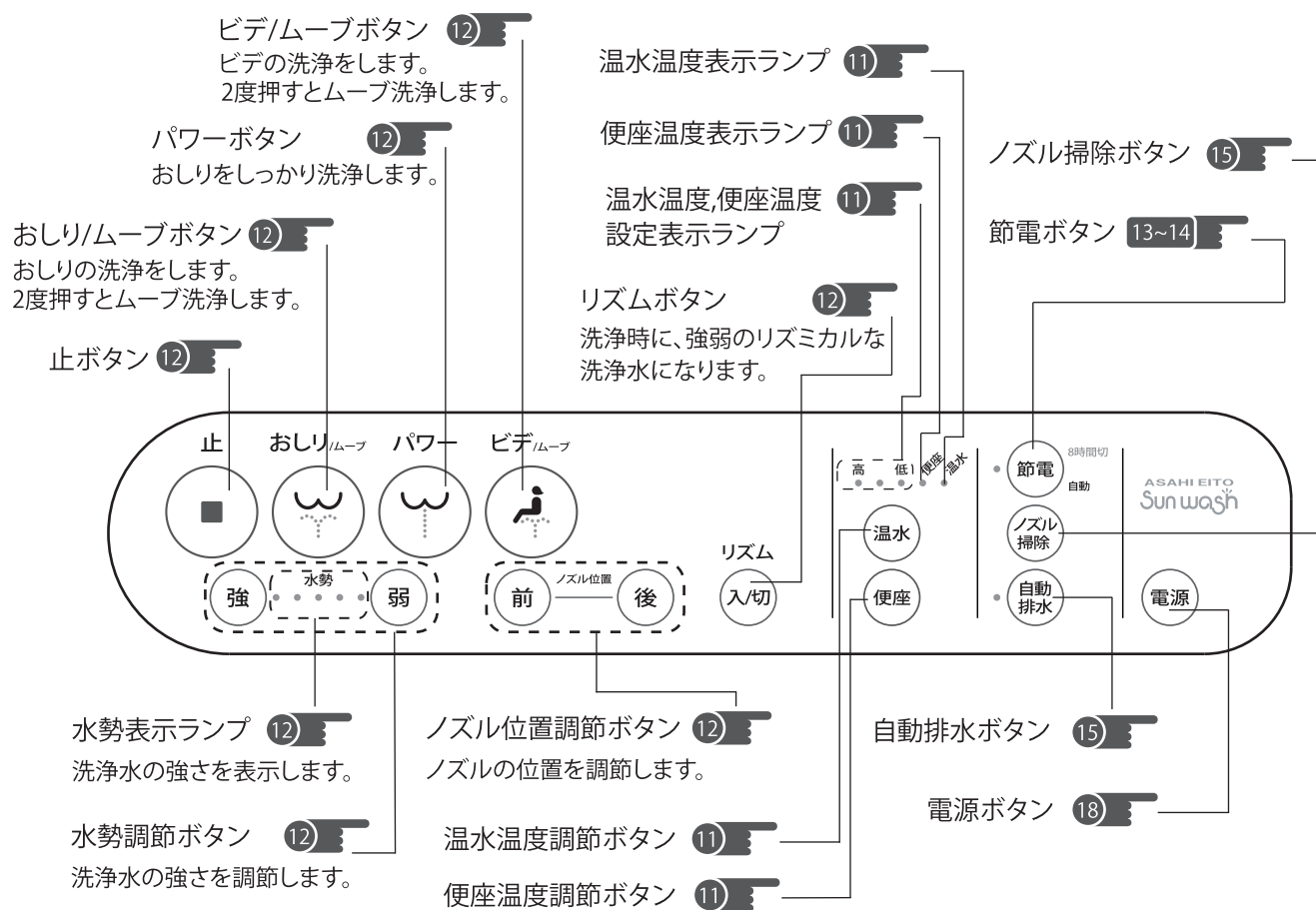
電源プラグを抜く際は

電源プラグはノズル使用后、10秒以上経過したことを確認してから抜いてください。

万が一、ノズル使用后10秒を経過せずに電源プラグを抜いたり、停電した場合、動作の初期化が行われず、ノズルの動作不良などが発生する原因となります。

各部の働き

操作パネル



脱臭 (DLAL921,DLAL92のみ)

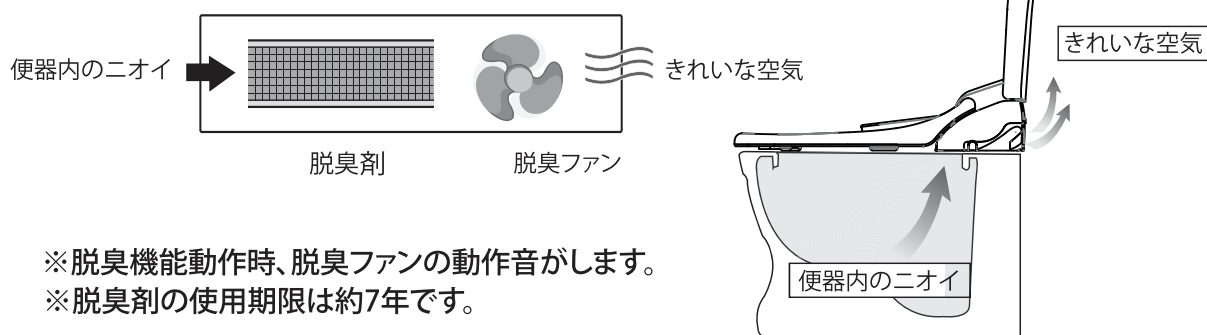
便座に座ると自動的に脱臭を開始します。

- ・ニオイをパワフルに分解する触媒脱臭を採用しています。 ⑬ ページ
- ・着座すると脱臭が始まり、立ち上がった後約1分間、脱臭が続く、次の人にも配慮した脱臭機能です。

* 触媒脱臭

- ・便と尿には硫化水素、メチルメルカプタン、アンモニアの三大臭気成分が入っております。
- ・脱臭剤で三大臭気成分を吸着させ、触媒でニオイを分解し、きれいな空気を室内に送ります。

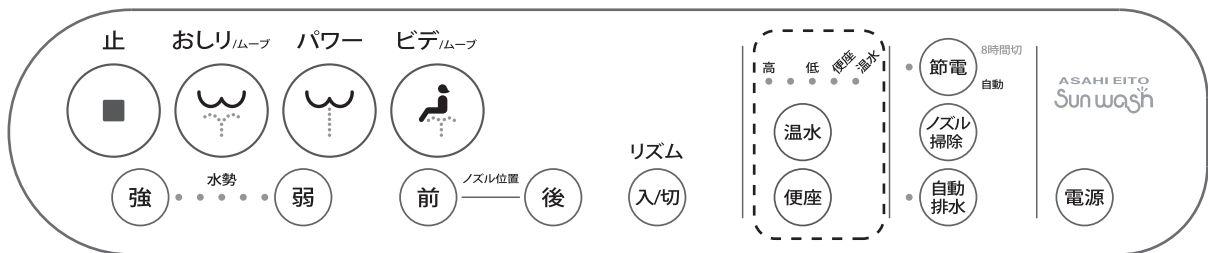
ニオイを吸引 ➡ 脱臭剤でニオイを吸着 ➡ 触媒でニオイを分解



電源を入れる

着座センサーに触れずに、電源プラグをコンセントに差し込みます。電気が供給されると本体操作パネルの温水ランプが点灯します。

使いかた

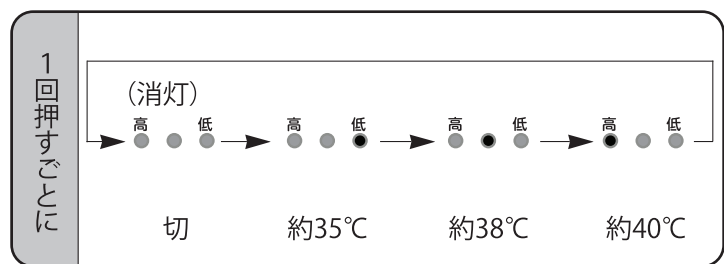


温水の温度を設定する

設置後温水の温度は「切」になっています。
好みの温度に設定してください。

温水 を押して設定する

温水ランプが点灯していない場合、お湯が出ません。



・約5分後に設定した温度になります。(水温によって異なります。)

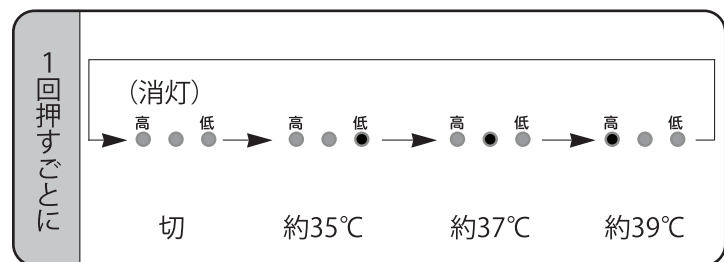
- ※1.周囲温度が20℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。
- ※2.給水温度が15℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。

便座の温度を設定する

設置後便座の温度は「切」になっています。
好みの温度に設定してください。

便座 を押して設定する

便座ランプが点灯していない場合、便座は温まりません。



・約5分後に設定した温度になります。(室温によって異なります。)

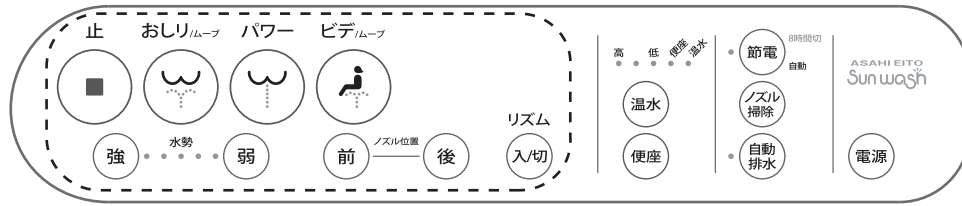
- ※1.周囲温度が20℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。
- ※2.便座上面を温めることを目的としているため、側面や先端を触ると冷たく感じるがありますが、故障ではありません。

このような時は。。。。

・設定後、停電になったら。。。?

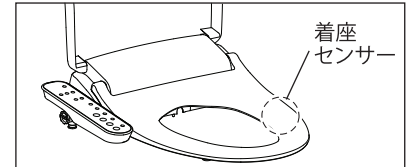
停電が1秒以上続いたときや、電源プラグをコンセントから抜いたときは、温水温度・便座温度は「切」になりますので、もう一度設定し直してください。

使いかた



おしり洗浄・パワー洗浄・ビデ洗浄 する

- 座る 便座の中央に座ります。
着座すると水勢表示ランプが3個点灯します。
脱臭を開始します。(DLAL921,92のみ)



- 洗う おしり洗浄

- ・排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。※1



を押す (ピッ)

- パワー洗浄

- ・排便後の局部周辺に付着した汚れをしっかりと洗い流す機能です。
長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください ※1



を押す (ピッ)

- ビデ洗浄

- ・生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。※1



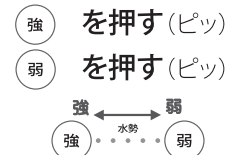
を押す (ピッ)

- ※1 ●長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。また、局部内は洗わないでください。
※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
●習慣的に便意を促すためには使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
●局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
●局部の治療・医療行為を受けている方のご使用については、医師の指示を守ってください。

おしり洗浄・ビデ洗浄の時に

水勢調節

- 強くするときは
弱くするときは



着座すると最後に設定した水勢位置になります。
初めて通電した時、または電源が切れて再度通電された時は3段目が表示されます。

ノズル位置調節

- 前にするときは
後にするときは



ノズル位置は常に3段目から始まります。
ノズル位置は1段目~5段目 (5段階) で調整可能です。

リズム洗浄

- ・おしり洗浄かビデ洗浄中に[リズムボタン]を押すと強弱のリズミカルな洗浄水で洗浄します。
もう一度押すと「リズム洗浄」が解除されます。



を押す (ピッ)

ムーブ洗浄

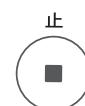
- ・おしり洗浄かビデ洗浄中にもう一度ボタンを押すとノズルが前後に動き、広い範囲を洗浄できます。
もう一度押すとムーブ洗浄が解除されます。



を押す (ピッ)

- 止める 洗浄が停止します。

- ※1.[止ボタン]を押さないで便座から立ち上がると数秒間水が勢いよく出ることがあります。
※2.洗浄停止後、ノズル付近から水が落ちることがあります。
これはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。

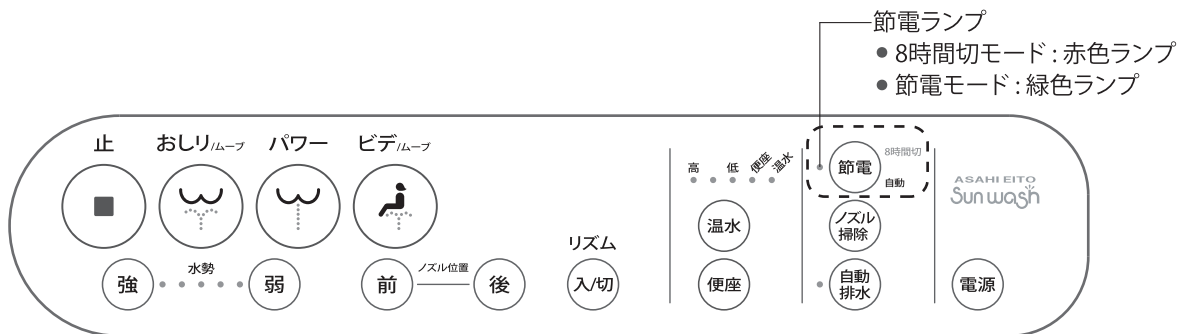


を押す (ピー)

脱臭機能 (DLAL921,DLAL92のみ)

- ・便座に座ると自動的に脱臭を開始します。(脱臭ファンの動作音がします。)
- ・脱臭運転は便座から立ち上がった後、約1分間運転し、自動的に止まります。
- ・便座に座り続けた場合は、約30分後に脱臭は止まります。

節電機能



節電モード・8時間切モードを使う

設置後、節電設定は「切」になっています。

お出かけやお休みの時など、長時間使用しない場合にお使いください。

節電 を押して設定する

選 択	1回押すごとに設定切り替え		
	標準モード	節電モード	8時間切モード
ランプ表示	ランプ消灯 節電 8時間切 自動	緑色点灯 節電 8時間切 自動	赤色点灯 節電 8時間切 自動
便座温度	設定温度	便座の温度を 35℃に下げる※1	8時間 通電停止
温水温度	設定温度	設定温度	8時間 通電停止

※1.周囲温度が20℃に満たない場合は所定の温度に達しないことがあります。

節電モード

- ・節電モード設定中は、緑色ランプが点灯します。
- ・節電モード設定中、便座温度は35℃になります。着座すると設定温度になりますが、立ち上がると再び35℃に戻ります。
- ・温水温度は、設定温度のままです。

8時間切モード

- ・8時間切モード設定中は、温水・便座への通電を停止します。
着座すると約5分後に設定温度になります。立ち上がると再び通電を停止します。
- ・8時間切モードに設定した後、8時間が経過すると赤色ランプが消灯し、最後に設定した温水温度・便座温度に戻ります。

例：

9時に8時間切モードに設定すると、8時間後の17時に通電を開始します。

0:00	9:00	17:00
設定温度	通電停止	設定温度

節電機能

途中で解除したい時

節電 を押して、各表示ランプを消灯させます。

上手に節電

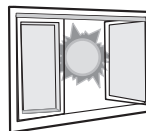
便ふたを閉じる

使用しないときは便ふたを閉じてください。
無駄な放熱を防ぎます。



夏は温度設定を低めに

夏は温水や便座温度を低めに設定しましょう。



節電機能を使用する

節電モードが設定されている間は便座の温度を下げ、8時間切モードが設定されている時間は通電を停止しますので、上手に使って節電しましょう。

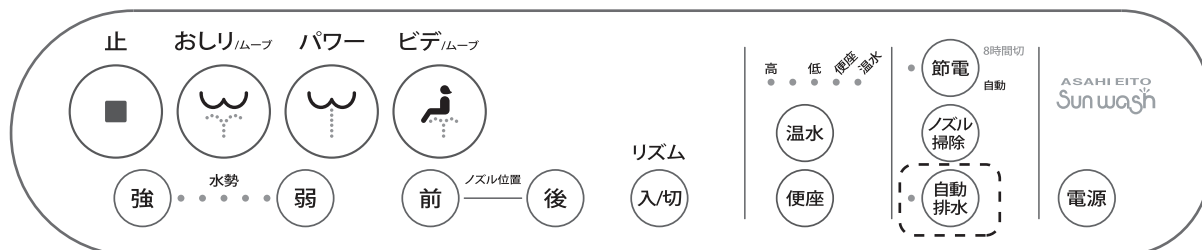


このような時は...

- ・ 節電モード中に便座に座ったら...?
設定中の便座温度は35℃ですが、着座すると数分で設定温度になります。
立ち上がると再び35℃に戻ります。
- ・ 8時間切モード中に便座に座ったら...?
設定中は便座の通電を停止していますが、着座すると通電を開始し約5分後に設定温度になります。
立ち上がると再び通電を停止します。
- ・ 途中で停電になったら...?
停電が1秒以上続いたときや、電源プラグをコンセントから抜いたときは、節電機能が解除されますので、もう一度設定し直してください。

タンク排水機能

本体内蔵の温水タンクの水を入れ替える機能です。



自動排水

自動排水を押す

自動排水ランプが点灯し、自動排水機能が設定されます。

もう一度[自動排水ボタン]を押すと、自動排水ランプが消灯し、自動排水機能が解除されます。

自動排水機能が設定された状態で洗浄機能が72時間使用されなかった場合、自動排水ランプが点滅し、温水タンクの水を入れ替えます(約3分間)。

設定中は72時間毎に温水タンクの水を入れ替えます。設定中に洗浄機能を使用した場合、洗浄終了から72時間毎に温水タンクの水を入れ替えます。

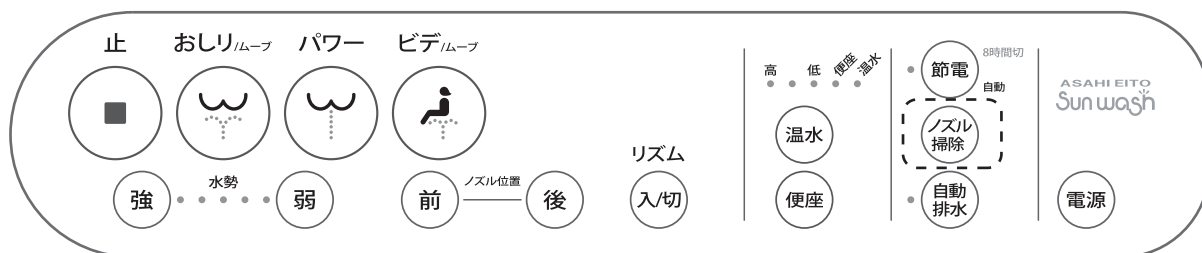
手動排水

自動排水を4秒間押す

着座しない状態で、[自動排水ボタン]を4秒(±1秒)押すと、自動排水ランプが点滅し、温水タンクの水を入れ替えます(約3分間)。

ノズル掃除機能

ノズル掃除機能は、着座中は動作しません。
ノズル掃除中に着座を感知すると動作を停止します。



自動掃除

ノズル掃除を押す

2分間ノズル掃除の水を出しながらノズルが前後に動作します。

「止ボタン」を押すとノズル掃除が停止し、ノズルが収納します。

手動掃除

ノズル掃除を3秒間押す

本体からノズルが5分間出た状態を保持します。

(歯ブラシなどでノズルの先端の穴を軽くこすって汚れを落とします。)

「止ボタン」を押すとノズルが収納します。

凍結防止について

凍結の恐れがある場合

本製品は寒冷地仕様ではありません。寒冷地でトイレの室温が0℃以下になるおそれのある場合や、長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグを抜いて便座本体内部の水抜きをしてください。

- 他の器具でトイレ内を暖房してください。
※暖房器具の注意書きに従って使用してください
暖房器具の熱源を近付けすぎると便座本体が変形するおそれがありますので、注意してください。
- 配管部は市販の凍結防止テープヒーターを取り付けてください。
- トイレ内を暖房できない場合は、下記の手順で水抜きをしてください。

水抜きの方法

1 電源プラグを抜く

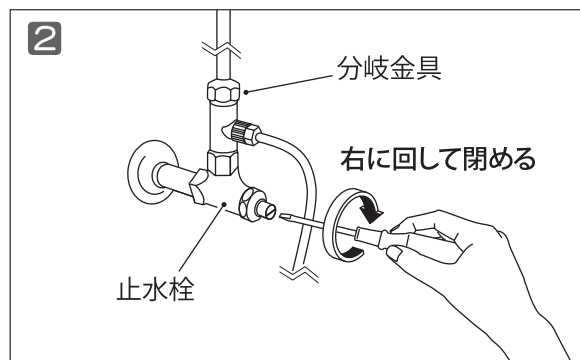
2 止水栓を閉める

マイナスドライバーで右方向に回します。

3 ロータンクの洗浄ハンドルを操作し、給水しないことを確認する

4 給水ホース内部の水抜きをする

- ① 給水ホースを分岐金具から取り外し、水抜きをします。
- ② 水抜きした後、給水ホースを分岐金具に取り付けます。
※バケツなどの容器を用意し、給水ホース内の水を受けてください。



使用方法

⚠ 注 意

「人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。



必ず実行

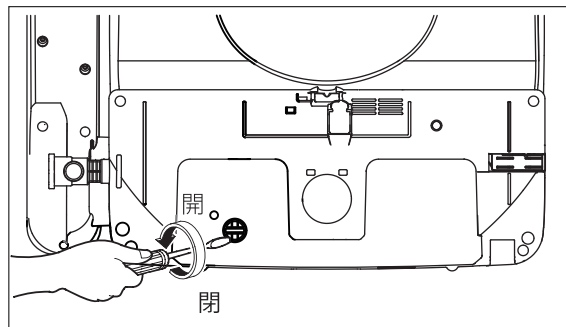
電源プラグはノズル使用后、10 秒以上経過したことを確認してから抜く

万が一、ノズル使用后、10 秒を経過せずに電源プラグを抜いたり、停電した場合、動作の初期化が行われず、ノズルの動作不良などが発生する原因となります。

凍結防止について

5 水抜き栓から便座本体内部(温水タンク)の水抜きをする

- ① 便座本体を便器から取りはずしてください。
※給水ホースに力を加えないでください。
- ② 便座底部の水抜き栓をマイナスドライバーなどを使用し左方向に90度回して引き出してください。



6 水抜き栓を閉め便座を取り付ける

- ① 水抜き後、水抜き栓を押し込んで右方向に90度回して締め付けてください。
- ② 便座本体を便器に取り付けてください。

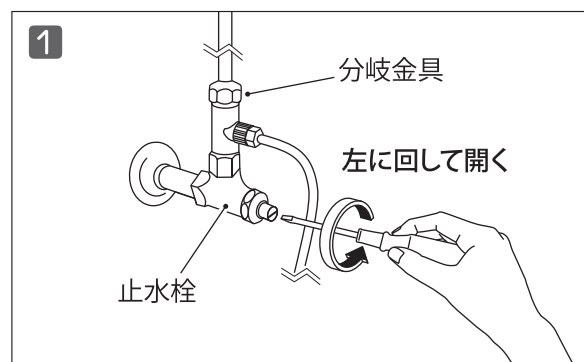
万が一凍結してしまったときは

温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水管接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。
※給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。給水ホースが破損するおそれがあります。

水抜き後の再通水の方法

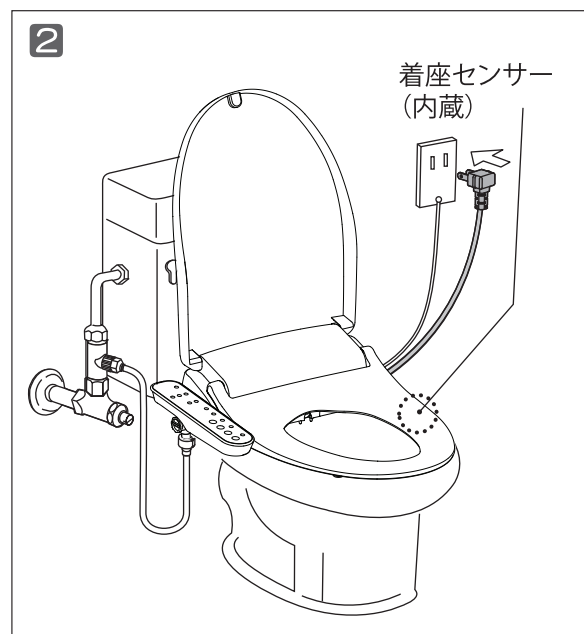
1 止水栓を開ける

マイナスドライバーで左方向に回します。
水抜き栓や給水ホースの接続部から水が漏れていないか確認してください。



2 着座センサーに触れずに電源プラグをコンセントに差し込み、電気を供給し、温水タンクへの給水、洗浄機能の動作確認を行う

試運転を参照し、行ってください。 9 ページ



知っておいていただきたいこと

着座センサー

お子様が使用するときは周りの方が注意してください。
便器内にはまったり、指をはさんでけがをするおそれがあります。

- ・本製品は着座センサーがついています。
着座すると水勢表示ランプが3個点灯します。便座に座らないとおしり洗浄やビデ洗浄はできません。
- ・洗浄機能使用中に立ち上がったたり体を浮かせたときは、着座センサーが「切」になり、洗浄機能が停止します。
※便座カバーを取り付けて使用すると、着座センサーが効かなくなる場合がありますので、使用しないでください。
※便座本体のお手入れ時に着座を検知する場合があります。お手入れ前は必ず電源プラグをコンセントから外して行ってください。

切り忘れ防止タイマー

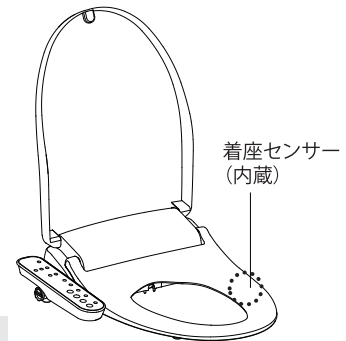
- ・各洗浄機能が作動してから約2分で自動的に洗浄機能が停止します。

洗浄水の温度

- ・洗浄開始直後から温水温度は徐々に下がりはじめます。
これは構造上の症状ですので故障ではありません。

水温が低いとき

- ・洗浄中に温水温度が低くなることがあります。約5分間洗浄をとめて、温水温度が上昇してから使用してください。



便座の温度

- ・周辺温度が20℃に満たない場合は、所定の温度に達しないことがあります。

低温やけど防止

- ・長時間便座に座り続けると低温やけどになる場合があります。
- ・便座に座ってから、約1時間後に自動的に便座ヒーターが切れます。
(水勢表示ランプが3個点滅し、操作パネルのボタンを押しても動作しません。)
立ち上がり、再度着座すると自動的に最後に設定した便座温度に戻ります。

使用中の音

- ・使用中に「シュー」という音がすることがありますが、これは便座本体内の温水タンクに水が供給される際の音ですので、異常ではありません。

水道圧が低いとき

- ・水道圧が0.069MPa(0.7kgf/cm²)より低いと、水勢を「強」にしてもノズルが出ないことや十分な水勢が得られないことがあります。
- ・十分な水勢が得られていても、他の蛇口で水道を使うことで、水道圧が0.069MPa(0.7kgf/cm²)より低くなると、十分な水勢が得られないことがあります。

電源プラグを抜く際は

- ・電源プラグはノズル使用後、10秒以上経過したことを確認してから抜いてください。
万が一、ノズル使用後10秒を経過せずに電源プラグを抜いたり、停電した場合、動作の初期化が行われず、ノズルの動作不良につながる場合があります。

電源オン/オフ

- ・[電源ボタン]を3秒以上押すと全てのランプが消灯し、電源が切れますが、この状態で再度[電源ボタン]を押すと温水ランプが点灯し電源が入ります。
- ・電源が一度オフになると、節電の設定と温度設定は「切」になりますので、もう一度設定し直してください。
(電源オフ前の設定値を記憶しません。)

お手入れ

⚠ 警告

「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



お手入れのときは必ず電源プラグを抜いてください。(18 ページ)

⚠ 警告

「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

お手入れが終了したら、電源プラグをコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

⚠ 注意

「人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。

便座の汚れはやわらかい布、またはうすめた台所用中性洗剤（アルコール成分を含まないもの）を含ませた布で拭き取ってください。

- ・シンナー、ベンジン、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、薬品で拭いたり、殺虫剤、芳香剤、消臭剤を掛けないでください。便座樹脂部がひび割れし、けがの原因になります。
- ・酸性、アルカリ性洗剤や塩素系洗剤は使用しないでください。気化ガスが便座本体内部に入り、電子回路などの腐食、故障の原因になります。
- ・クレンザーや磨き粉が入っている洗剤やナイロンたわしは使用しないでください。変色、変形、傷の原因になります。
- ・乾いた布やトイレットペーパーなどでこすらないでください。傷の原因になります。

⚠ 注意

「人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。

便器内を洗剤でお手入れするときは…

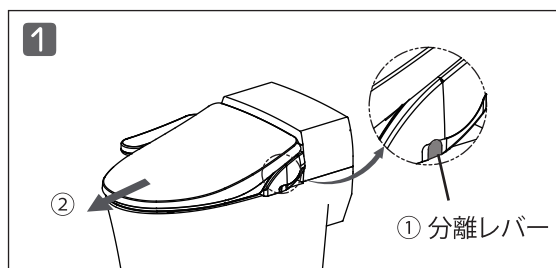
- ・便器内の清掃にトイレ用洗剤および消毒剤などを使用するときは、早め（3分以内）に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしてください。（便器用洗剤などの気化ガスが便座本体内部に入り、電子回路などの故障の原因になります。）便座についてしまったら、確実に拭き取ってください。便座樹脂部がひび割れし、けがの原因になります。

便座本体

便座本体を取りはずして、裏側や便器の上面も掃除してください。

1 便座本体を取り外す

- ① 便座本体の分離レバーを押して下さい。
- ② 便座本体を手前に引いてください。

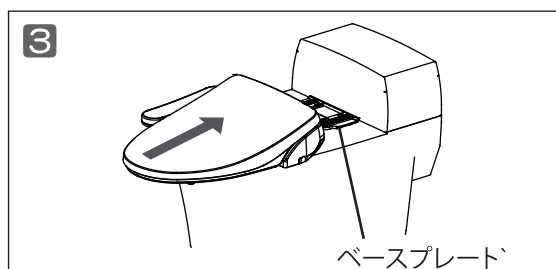


2 お手入れする

- ・便器面を掃除してください。
※給水ホースなどに無理な力がかからないようにしてください。

3 便座本体を取り付ける

- ① 便座本体とベースプレートに合わせてください。
- ② ベースプレートの奥まで確実に差し込んでください。
便座を手前に引き、固定されたか確認してください。



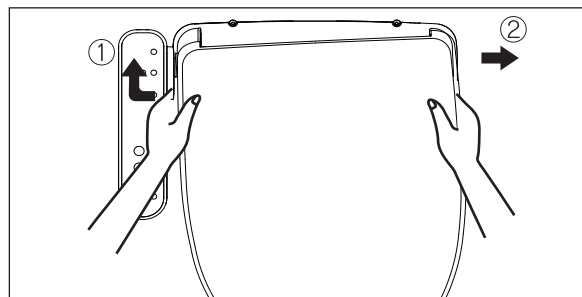
お手入れ

便ふた

便ふたを取り外してお手入れすることができます。
便ふたを閉じた状態で取り外し、取り付けを行ってください。

1 便ふたを取り外す

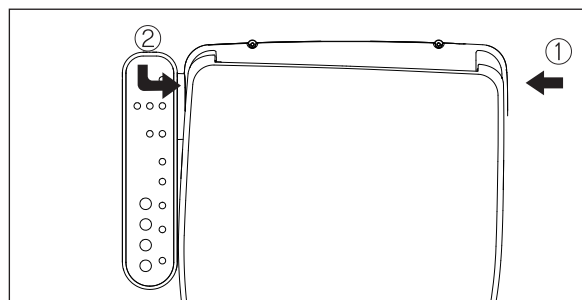
- ① 便ふたの左軸を広げながら、ヒンジ部を軸から外し、持ち上げてください。
- ② 右軸を外してください。
※指をはさまないように注意してください。



2 お手入れをする

3 便ふたを取り付ける

- ① 外した状態と同じ角度で、右軸を先に取り付けてください。
- ② 便ふたの左側を広げながら右軸を取り付けてください。

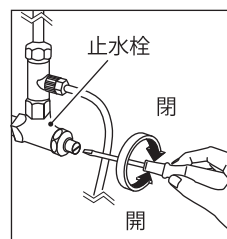


ストレーナー

目詰まりすると洗浄水の水勢が弱くなったり、ノズルが出なくなることがあります。
主な原因となる鉄さびや砂、ぬめりなどをこまめに取りのぞいてください。

1 止水栓を閉める

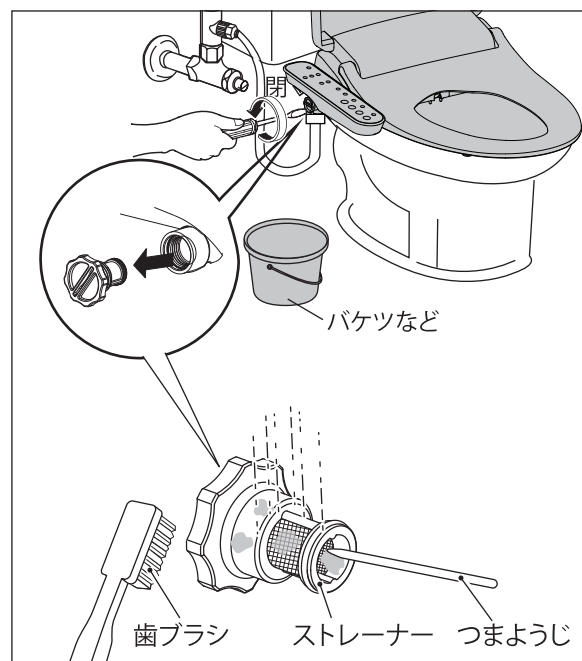
マイナスドライバーで右方向に回します。



2 ストレーナーを掃除する

(給水口の下にバケツなどを置いてください。)

- ① ストレーナーを開方向に回して、ねじをゆるめてから、引き抜いてください。
- ② 右図を参照し、水道管からの鉄さびや砂、ぬめりを取りのぞいてください。
- ③ 清掃後、ストレーナーのねじ山を合わせて、閉方向に回し、隙間がなくなるまでしっかりと手締めしてください。



3 止水栓を開ける

マイナスドライバーで左方向に回します。

※給水ホースの接続部から水が漏れていないか確認してください。

仕 様

品 番		DLAL911LI DLAL911LW DLAL91LI	DLAL921LI DLAL921LW DLAL92LI
定 格	電 源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力	1070W(本体1010W 便座60W)	
年間消費電力 ※1		149(215)kWh/年	
省エネ区分		貯湯式	
製品寸法		463mm×奥行536mm×高さ146mm	
給水方式		水道直結式	
商品質量		約4.3kg	約4.4kg
電源コード		長さ 約1.2m	
使用水压範囲 ※2		0.069MPa(流動時)～0.735MPa(静止時)	
洗浄装置	おしり洗浄	約0.4～0.7L/分(水压0.2MPaのとき)	
	パワー洗浄	約0.5～0.75L/分(水压0.2MPaのとき)	
	ビデ洗浄	約0.5～0.8L/分(水压0.2MPaのとき)	
	水勢調整	5段階(パワー洗浄：3段階)	
	ノズル位置調節	5段階	
	タンク容量	0.6L	
	温水温度	マイコン制御、切・約35～40℃	
	安全装置	フロート式水位センサー、温度過昇防止器、温度ヒューズ	
暖房便座	表面温度	マイコン制御、切・約35～39℃	
	安全装置	温度ヒューズ	
脱臭装置	脱臭方式	－	触媒脱臭 ※3
	運転制御	－	マイコン制御(着座センサー連動)
その他の安全装置		漏電遮断器(内蔵)、着座センサー(内蔵)	

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

本製品は家庭用です。業務用として使用できません。

※1 省エネ法（2012年度基準）に基づいて、便座サイズや湯沸し方式などの種類別の算定式により、4人家族（男性2人・女性2人）で1日あたりおしり洗浄4回、ビデ洗浄8回、男性小用4回で使用した場合を基準に算出したものです。

タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間と使用率で算定しております。

（ ）内はタイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力となります。

※2 使用水压範囲以外では、十分な性能が得られない場合があります。

※3 脱臭剤の使用期間は約7年です。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われることがありましたら、修理を依頼される前に次のことを調べてください。

症 状	確 認 す る と こ ろ	処 置	参 照 ページ
電源が入らない	- 電源プラグがコンセントからぬけていませんか。 - ブレーカーが「ON」になっていますか。	- 電源プラグをコンセントに奥まで差し込む。 - ブレーカーを「ON」にする。	9
洗浄水が出ない	- 水道が断水していませんか。 - 止水栓が閉まっていますか。 - ストレーナーが詰まっていますか。 - ノズルの穴が詰まっていますか。 - 着座センサーが正しく動作していますか。 - 便座に座っていますか。 - 市販品の便座カバーをつけていませんか。	- 通水されるまで待つ。 - 止水栓を開く。 - ストレーナーを取り外して掃除し、鉄さび、砂、ぬめりを歯ブラシなどで取りのぞく。 - ノズルの穴を歯ブラシなどで確実に掃除する。 - 着座センサーの上に座る。(約60cmのトイレ用ペーパーを4、5回折り重ねて(16-32重)しっかり水に濡らし、センサーの上において動作する場合はセンサーは正常です。) - 座って使用する。 - 便座カバーを取りはずして使用する。	17 9、17 20 15 12、18 12、18 3、18
※切り忘れ防止タイマーが働き、洗浄水は連続洗浄時間が約2分を経過すると、自動で止まります。			
洗浄水が弱い	- 水圧が普段より低くなっていますか。 ※0.069MPa(0.7kgf/cm²)以下 - 水勢の設定が「弱」になっていませんか。 - その他、上記「洗浄水が出ない」の項目と同じ	- 他の水道の同時使用をなるべくさける。 - 水勢の設定を「強」にする。 - その他、上記「洗浄水が出ない」の項目と同じ	18 12 8、17 12、20
便座が温かくない、または冷たい	- 便座温度表示ランプが「低」や「消灯」になっていませんか。 8時間切モードになっていませんか。 - トイレ室内の温度が低いではありませんか。	[便座温度調節ボタン]を押して「高」側に設定する。 8時間切モードを解除する。 - 周囲温度が20℃に「満たない」場合は所定の温度に達しないことがあります。	11 13 11、13、18
※低温やけど防止のため、便座に座ってから約1時間後に自動で便座ヒーターは切れます。立ち上がり、再び着座すると自動で最後に設定した便座温度に戻ります。			
洗浄水が温かくない、または冷たい	- 温水温度表示ランプが「低」や「消灯」になっていませんか。 8時間切モードになっていませんか。 - トイレ室内の温度が低いではありませんか。 - 給水温度が低いではありませんか。	[温水温度調節ボタン]を押して「高」側に設定する。 8時間切モードを解除する。 - 周囲温度が20℃に「満たない」場合は所定の温度に達しないことがあります。 - 給水温度が15℃に「満たない」場合は所定の温度に達しないことがあります。	11 13 11、13、18 11、18
使用中に温水温度が低くなる	長時間連続出湯していませんか?	温水になるまで洗浄を止めて5分ほどお待ちください。	18
※洗浄開始直後から温水温度は徐々に下がりはじめます。これは構造上の症状ですので故障ではありません。			

そ
の
他

上記のことをお調べになり、それでも異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの取扱店・販売店・またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに連絡してください。

症 状	確 認 す る と こ ろ	処 置	参 照 ページ
便座本体ががたつく	・ベースプレートの固定ナットがゆるんでいませんか。 ・便座本体がベースプレートから外れていませんか。	・固定ナットを増し締めする。 ・ベースプレートの奥まで確実に差し込む。	7 7
便座や便ふたが開いたときに静止しない	・市販品の便座カバー、便ふたカバーがついていませんか。	・便座カバー、便ふたカバーを取りはずして使用する。	3、18
水勢表示ランプが 3 個点滅する	・市販品の便座カバーがついていませんか。 ・長時間、便座に座り続けていませんか。	・便座カバーを取りはずして使用する。 ・便座から立ち上がる。	3、18 18
温水温度表示ランプ、または便座温度表示ランプが点滅する	—	・お買い求めの販売店、取付店、またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに修理を依頼してください。	—
脱臭効果が感じられない (DLAL921、92 のみ)	・脱臭剤の使用期限 (約 7 年) を越えていませんか。	・便座本体裏側の脱臭口の目詰まりを取り除く。 ・脱臭剤を交換する。	10
配管、給水ホース接続部から水が漏れる	・接続部のナットがゆるんでいませんか。	・漏れている箇所のナットを締め直す。	8
		・パッキンがきちっとはまっているか確認する。	8
		・パッキンが劣化していないか確認する。	8
	・ナットのねじ山がななめ締めになっていませんか。 ・給水ホース給水口接続部をクイックファスナーで正しく挟んでいますか。	・手締めで再接続する。	8
		・クイックファスナーを再接続する。	7
	・ストレーナーが緩んでいませんか。	・ストレーナーを締めこむ。	19
ノズル付近から水が漏れるがしばらくすると止まる	・洗浄前後、ノズル付近から水が落ちますか。 ・便座を使用している状態で、ノズル付近から水が落ちますか。	・洗浄前後、ノズル付近から 1 ～ 2 分水が落ちるのは、ノズル内の残水によるもので故障ではありません。 ・便座を使用している状態で、ノズル付近から水が落ちるのは温水タンクの水が沸き上がったときの膨張水によるもので故障ではありません。	9、12 9
ノズル付近から水が落ち続けて止まらない	・残留水排水穴から水が漏れ続けていますか。	・お買い求めの販売店、取付店、またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに修理を依頼してください。	
便座の左側 (給水口側) から水が漏れ続けて止まらない	—		
ノズルの動きが悪い ノズルが出ない ノズルが戻らない	—		
以前使用していた機種より洗浄水が弱いまたは強い	・他機種からの買い換えの場合、以前の製品と構造が異なる為、交換前のものと比べて洗浄水が弱く感じる場合や強く感じる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		

上記のことをお調べになり、それでも異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの取扱店・販売店・またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに連絡してください。

温水洗浄便座は電気製品です

ご自宅の温水洗浄便座、
何年お使いですか？
故障していませんか？

長年のご使用や故障したままのご使用は、
電子・電気部品が劣化して発煙・発火などの恐れがあります。



温水洗浄便座を安全に使う3つのポイント

①

定期的な点検を
おすすめします。
まずは自分で
安全チェックを。

安心してご使用いただくため、定期的
な点検(有料)をおすすめします。

②

リコール製品や
故障した製品は
使わない
でください。

発煙・発火などの原因になります。す
ぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉め
てご使用を中止してください。

③

長期間お使いの
製品は点検と
買い替えを
ご検討ください。

長期間(10年以上)ご使用の温水洗
浄便座は買い替えをご検討ください。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

- | | |
|---|--|
| ☐ トイレが焦げ臭いなどいつもと違うにおいがする。 | ☐ 便座にひびや割れがある。 |
| ☐ 便座がときどき冷たい(節電中は除く)。 | ☐ 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている。 |
| ☐ 便座が異常に熱いときがある。 | ☐ 電源プラグやコードの発熱や焦げ、変色がある。 |
| ☐ お湯や温風が異常に熱い、または冷たいときがある。 | ☐ 製品や便器を伝って水漏れしている。 |
| ☐ 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある。 | ☐ 使うときだけ少量の水がたれて水漏れしている。 |
| ☐ 便座コードの発熱やねじれ、キズ、挟み込みがある。 | |

上記症状は、発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、
販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

発行元：一般社団法人
日本レストルーム工業会

<https://www.sanitary-net.com/>

トイレナビ

検索

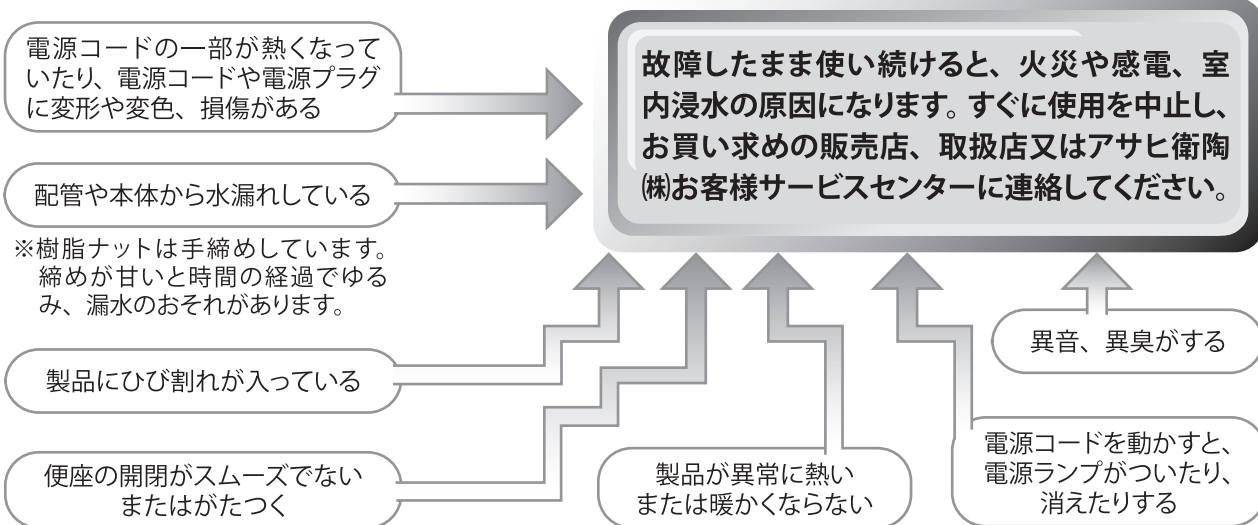


詳細はこちらを
ご覧ください

点検のお願い

日常点検

安全に長くご愛用いただくために、日ごろから点検を行ってください。
次のようなときは電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。



製品の長期使用に関する本体表示について

本体への表示内容

・製造年
(便ふた裏の注意ラベルに西暦4桁で表示しています。)

2022 年製 No.123456

・注意喚起
(便ふた裏の注意ラベルに右記の表記を表示しています。)



【想定安全使用期間】10 年

想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。

無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

※一般家庭用以外(事務所、病院等、不特定多数の方が使用される場所)に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

標準的な使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V 50/60Hz	機器の定格電圧／周波数による
	温度	20℃	JIS A 4422による
	給水温度・給水圧	15℃ 0.2MPa	JIS A 4422による
付加条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A 4422による
想定条件	4人家族(男性2人・女性2人)において大便:1回/日・人、小便男性:4回/日・人、小便女性:4回/日・人の使用回数で、1回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ15秒間とする。		JIS A 4422による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

保証書

温水洗浄便座

保証期間	品 番	保証期間（ご購入後）
	DLAL921/DLAL911/DLAL92/DLAL91	1 年 間
ご購入日	年 月 日	
お客様	ご住所:	
	お名前: 電話:	
販売店 または 取付店	住所:	
	店名: 電話:	

上欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合に無料修理をさせて頂きます。

(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店または取付店、またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターにお申し付けください。

(ロ) 出張修理に際しては本書をご提示ください。

2. 保証期間内でも、次の場合には原則として有料修理になります。

(イ) 使用上の不注意、過失による不具合および不当な修理や改造、分解、破壊行為による故障および損傷。

(ロ) 正しい施工がされなかった場合。

(ハ) お取付後の移設、輸送、落下に起因する故障および損傷。

(ニ) 車輛・船舶等に搭載された場合に生じる故障および損傷。

(ホ) 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する当該品の不具合。

(ヘ) ねずみなどの動物や昆虫が噛んだり、それらの死骸の製品内への残留物による不具合。

(ト) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化水素ガス等）、煤煙、砂塵、金属粉、凍結、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）、CISPR（国際無線障害特別委員会）規格外の特殊ノイズ等による故障および損傷。

(チ) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

(リ) 駅や商業施設など使用回数の多い場所に設置された場合による故障および損傷。

(ヌ) 結露が原因による故障および損傷。

(ル) 消耗品類（パッキン、脱臭カートリッジ、乾電池など）の経年劣化や摩耗劣化による不具合。

(ヲ) 色あせ等の経年劣化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。

(ワ) 汚れなど通常のお手入れ不足による不具合および使用禁止薬剤の使用等、適切な維持管理がなされなかった場合。

(カ) 指定以外の水質（水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水）の給水時における異物の詰まりなどによる故障および損傷。

(コ) ゴミを噛んだり、水道管の鉄さび、砂、水あか、ぬめりが固着したことによる不具合。

(タ) 出荷時の科学技術水準の見解では本製品に欠陥があることを認識することができなかった事由による故障および損傷。

(レ) 本書のご提示が無い場合。

(ソ) 本書にご購入日、お客様名、販売店または取付店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

4. 本書は、再発行致しませんので大切に保管してください。

* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。

したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様サービスセンターにお問い合わせください。



アサヒ衛陶株式会社

〒540-0028 大阪府大阪市中央区常盤町 1 丁目 3-8
中央大通 FN ビル 10F

アフターサービスについて

保証書と保証期間について

保証書は、販売店又は取付店で所定事項を記入のうえ、お渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は、据付け引渡し日から1年間です。

保証期間内でも有償になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

補修用性能部品の保有年数について

便座の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後6年です。なお、補修用性能部品の保有期間内であっても、商品によっては代替品にて対応させていただくこともありますのでご了承ください。

部品の交換について

無償修理により交換された部品・製品は、アサヒ衛陶(株)の所有となります。

修理を依頼されるときは

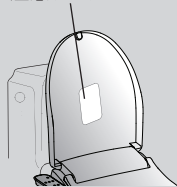
もう一度、説明書をよくお読みいただき、それでもなお異常のある時はお買い求めの販売店、取付店、またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターに修理をご依頼ください。

※修理に際しては保証書が必要となります。保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

● 連絡していただきたい内容

- ① 住所、氏名、電話番号
- ② 商品名
- ③ 品番 例) DLAL911II
便ふた内側の注意ラベル
右上に表示

注意ラベル



- ④ 据付け引渡し日が記載された保証書の有無

- ⑤ 故障内容、異常の状況
出来るだけ詳しくご説明ください。

保証期間が過ぎているときは

修理をすることで使用できる商品については、ご希望により有償で修理をさせていただきます。

※修理代金

技術料 + **部品代** + **出張料** で構成されています。

● 商品のお問い合わせ・修理のご相談

全国でアフターサービスの対応を行っております。商品に不具合が生じた場合は、商品品番をお確かめの上、お客様サービスセンターまでご連絡ください。
受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始・弊社所定の休日等を除く)

06-7777-2067

▶ 音声ガイダンス【1番】へご連絡ください。

インターネットからも修理のお申し込みが可能です。
アサヒ衛陶Webサイト
<https://www.asahieito.co.jp/>



アサヒ衛陶株式会社

22.04A